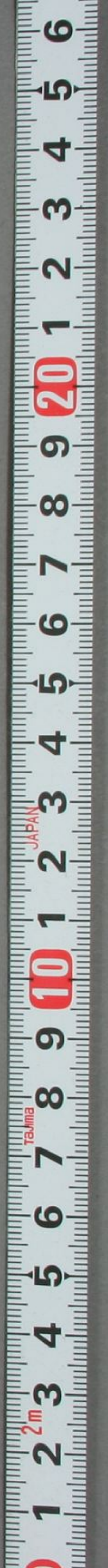


英國一覽
二

特別
~12
3425
2





畫本異國一覽卷之貳

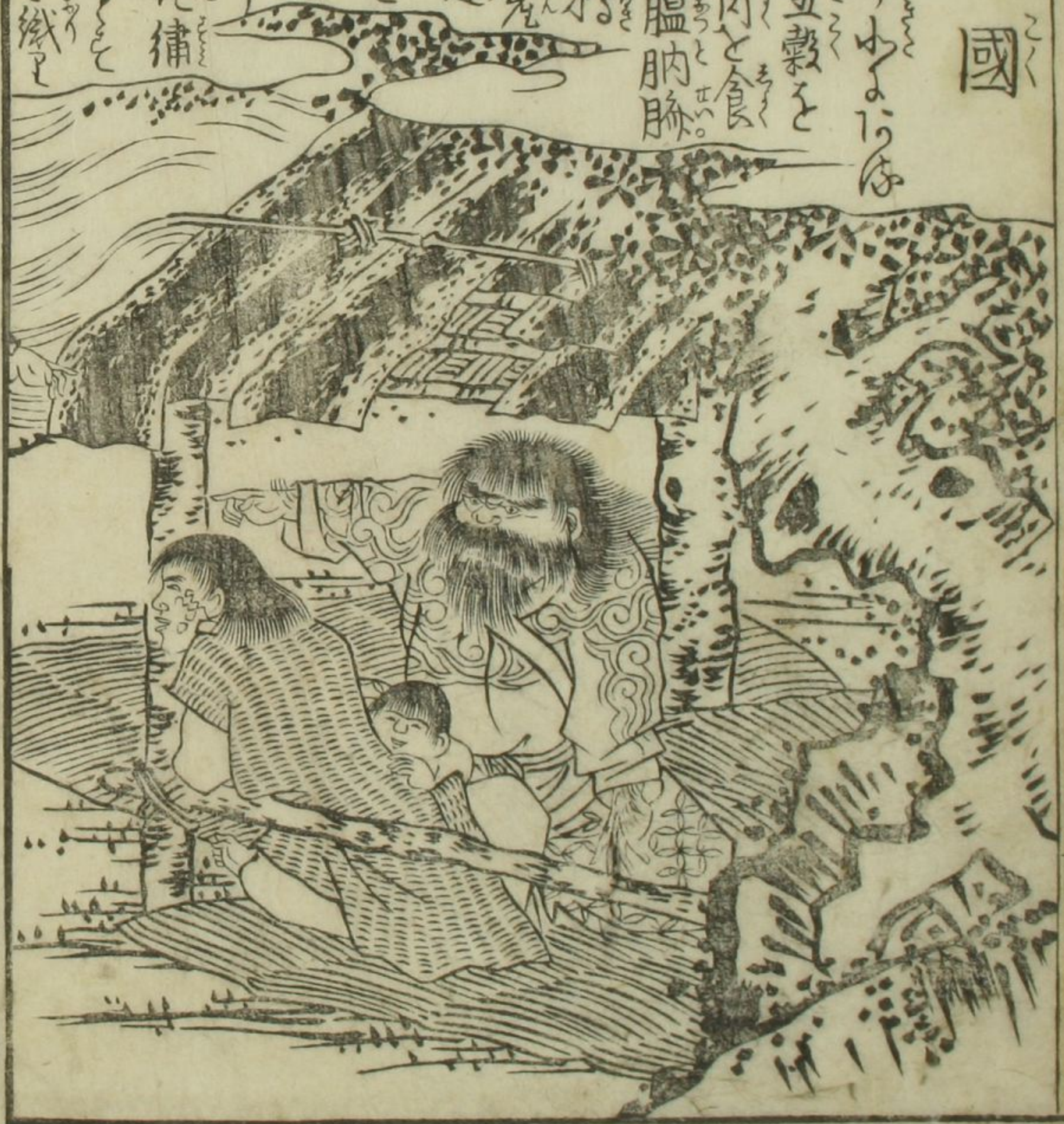
- | | | | | | |
|------|-----|---------|------|-----|-----|
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 波斯國 | 大夏國 | 錫蘭
寫 | 莫卧爾國 | 鐵東國 | 蝦夷國 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 弼琶羅國 | 象林國 | 應帝亞國 | 哈烈國 | 鞞鞞國 | |

3425
2



○蝦夷國

日本奥あへりやまらほ
 をあへりけ國五穀を
 けやけ獸肉魚肉と食
 とけ水豹胡狼膾腩豚
 麩昆布熊膽柀
 錦さへりのねを
 物とけ但し鉄ハ鞋
 靴さへり交易をも
 つへ物男女とも
 眉毛さへりやまらほ
 夫らりる女いあは花傭
 とて夫らりるやまらほ
 衣振らる夜夢と織り

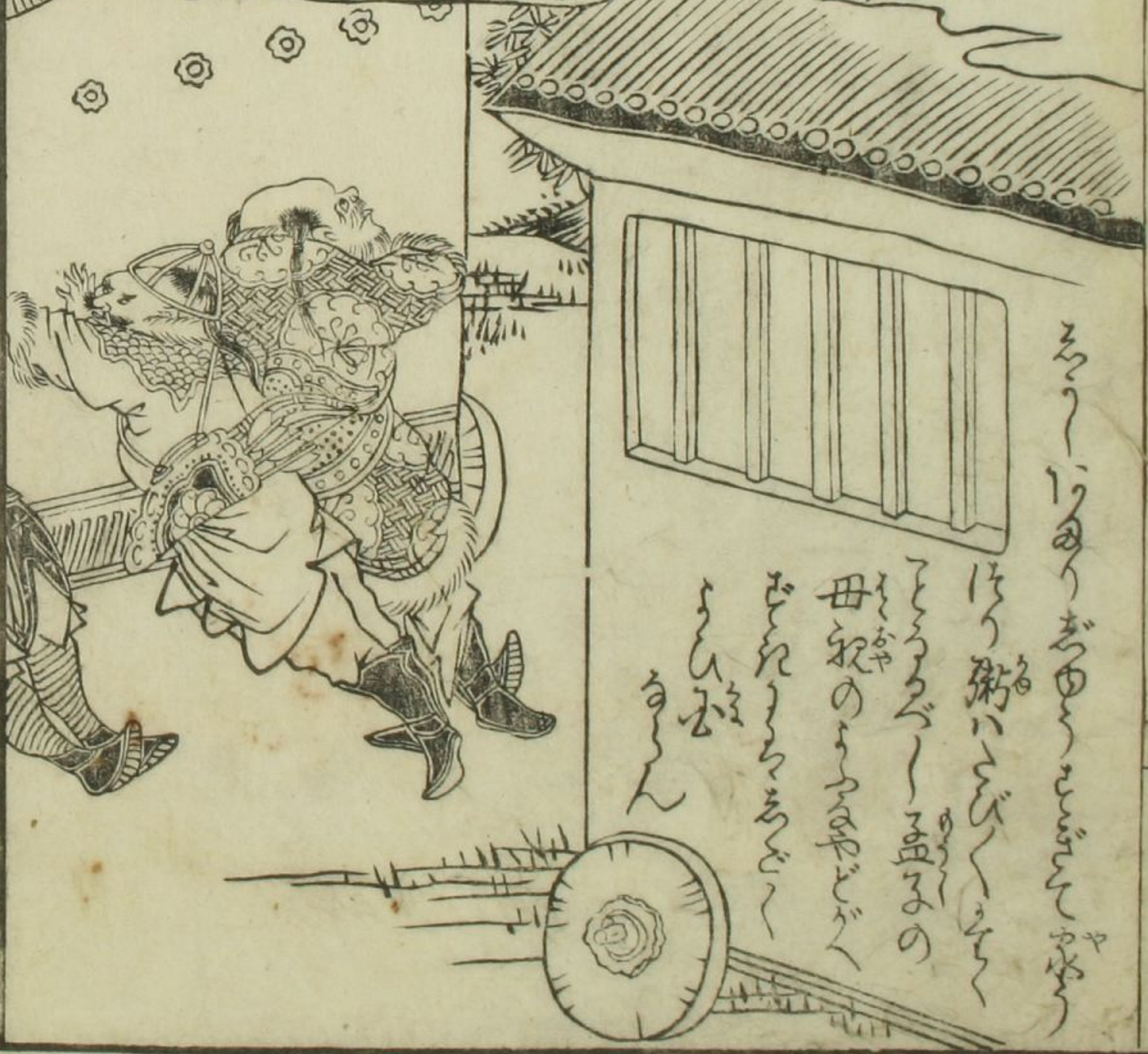


たるアウととら入布を
 用也毒さつとまの
 こま妙とわらう
 世國あへり昆布
 とあへり産さるあ
 やね根とぬく昆
 布と利也又火煙
 扇園ながりもま
 ぶさめりり田かろあ
 りふんはれぐのあから
 へこつよはらり出花のま
 香くくの火煙ぬんのけとホ
 キくとあへりま
 りもやねかろんさくく味
 りもやねかろんさくく味



○ 韃 鞨 國

此國四十八道にして度々
なりむらうの中を毎日わら
わらうるものとも異なり
六月は梅の花咲くころ
人物を強く険阻を走
射術はよく狩猟を
造りて便利にして事ある日
牛人も善く教習の床の
はさの柱をくくるとり
植の苦板を符入の櫓も
るがめ一まきのさけ
のまらひど



さうらりめりおのうと
けう術いびく
てうぶーまよの
母親のうやどぐ
むれうらま
ふしお
きん



一まきのさけ
ういこたりて
終摩が方
長明の
まらひ
さうらり
めり
おのう
と

○鐵東國

韃靼の南天山の東よ
 流沙川の南に居る
 その國を東國と
 東西より出入り
 石室に居る人
 獸よそのと負せて
 歩むる人あり
 火の人の事



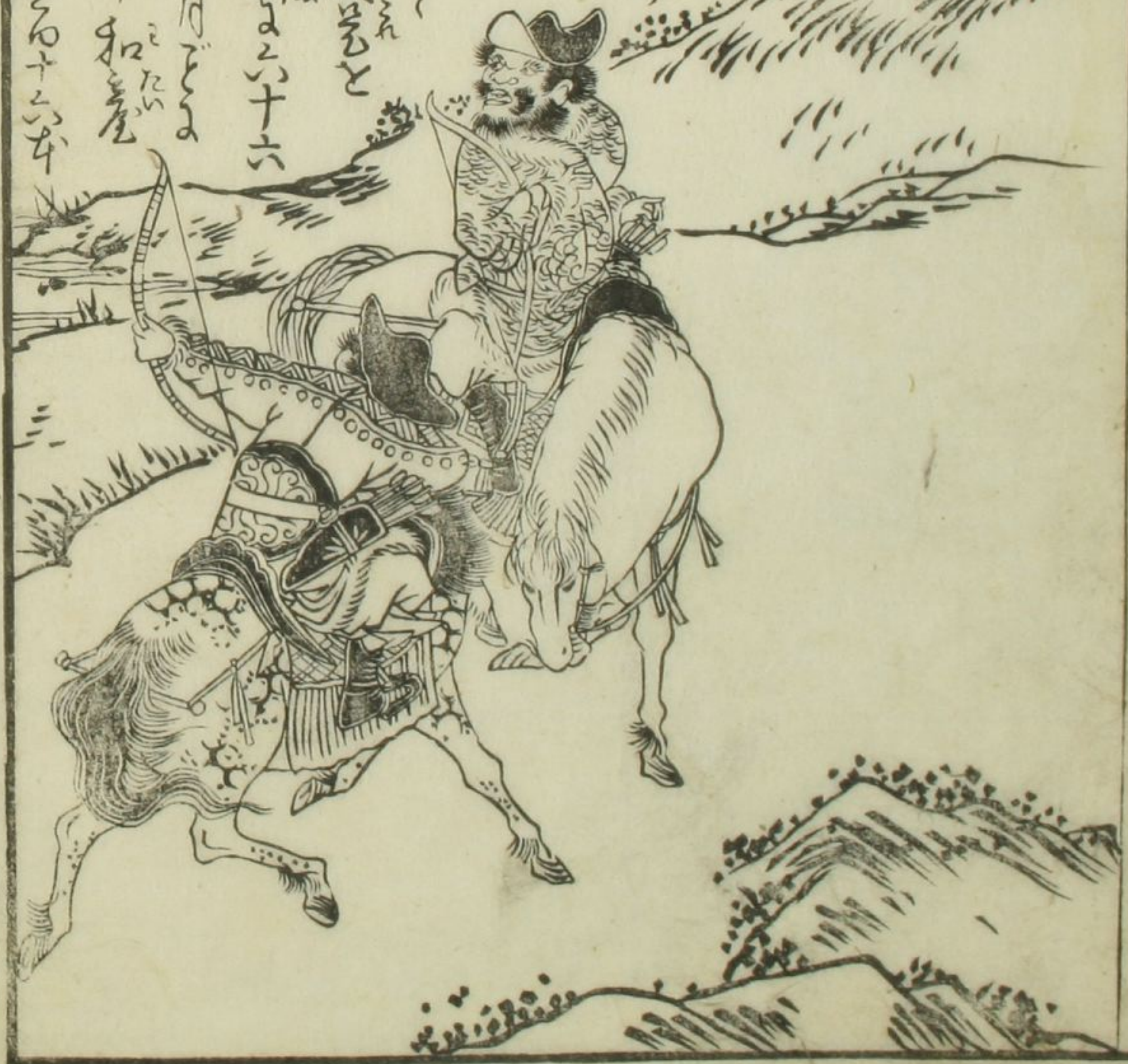
させらんども
 やうどお魚のや
 ぞろろ又は
 なるふゆへ
 ころびんの

それで
 てつらん
 かな
 かな



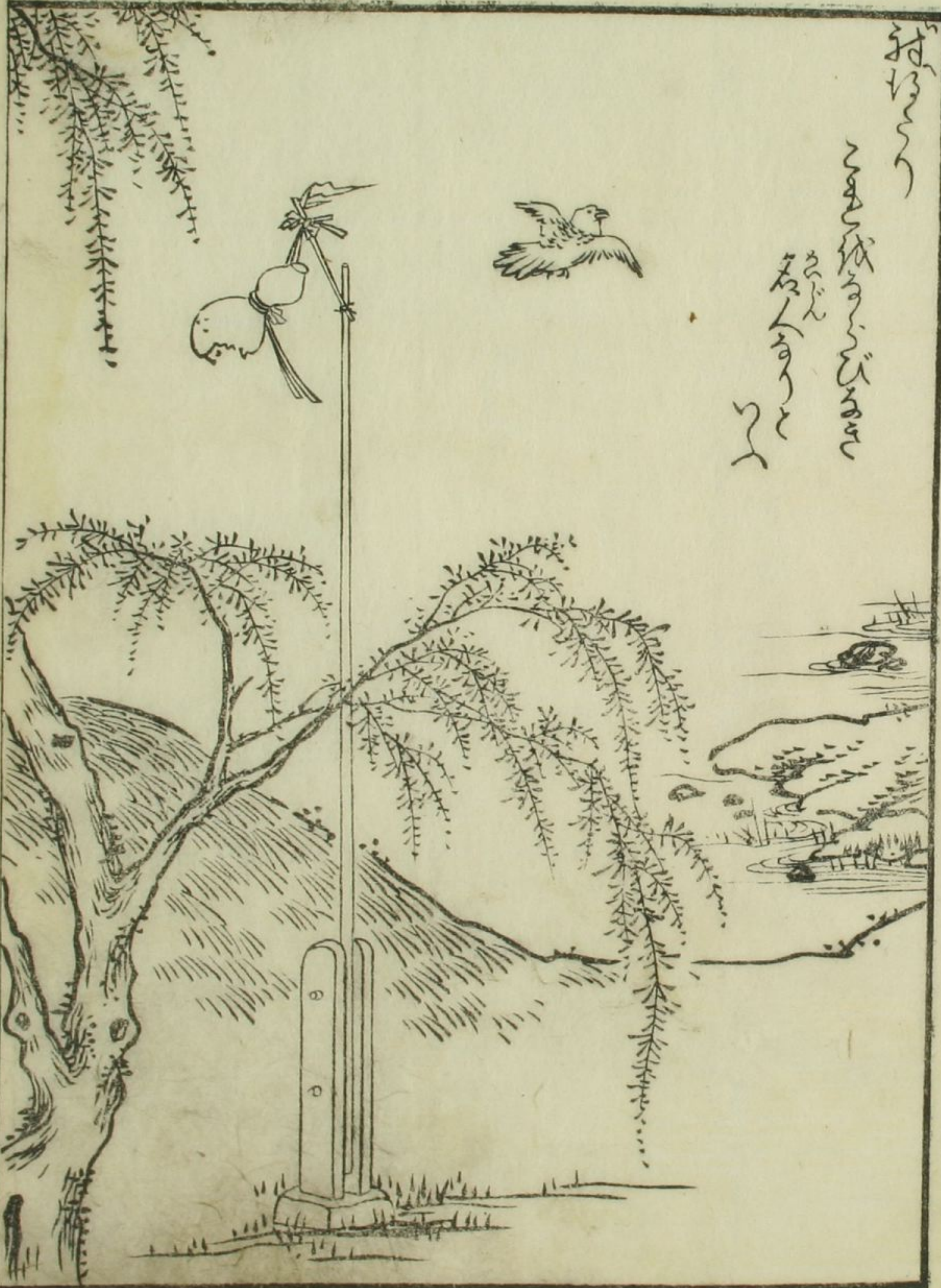
○哈烈國

人物皆多力はし
 男女も射撃をよ
 くと毎月湖頭は人群
 集して射を試むる
 事とたてて政をこ
 その中より白鶴と
 してるとねど
 是と射る政を射る
 鶴を花とめの上よと
 放鶴の試射とつら
 間堂とつらつら
 通つたを法にせん
 通つるの通つた



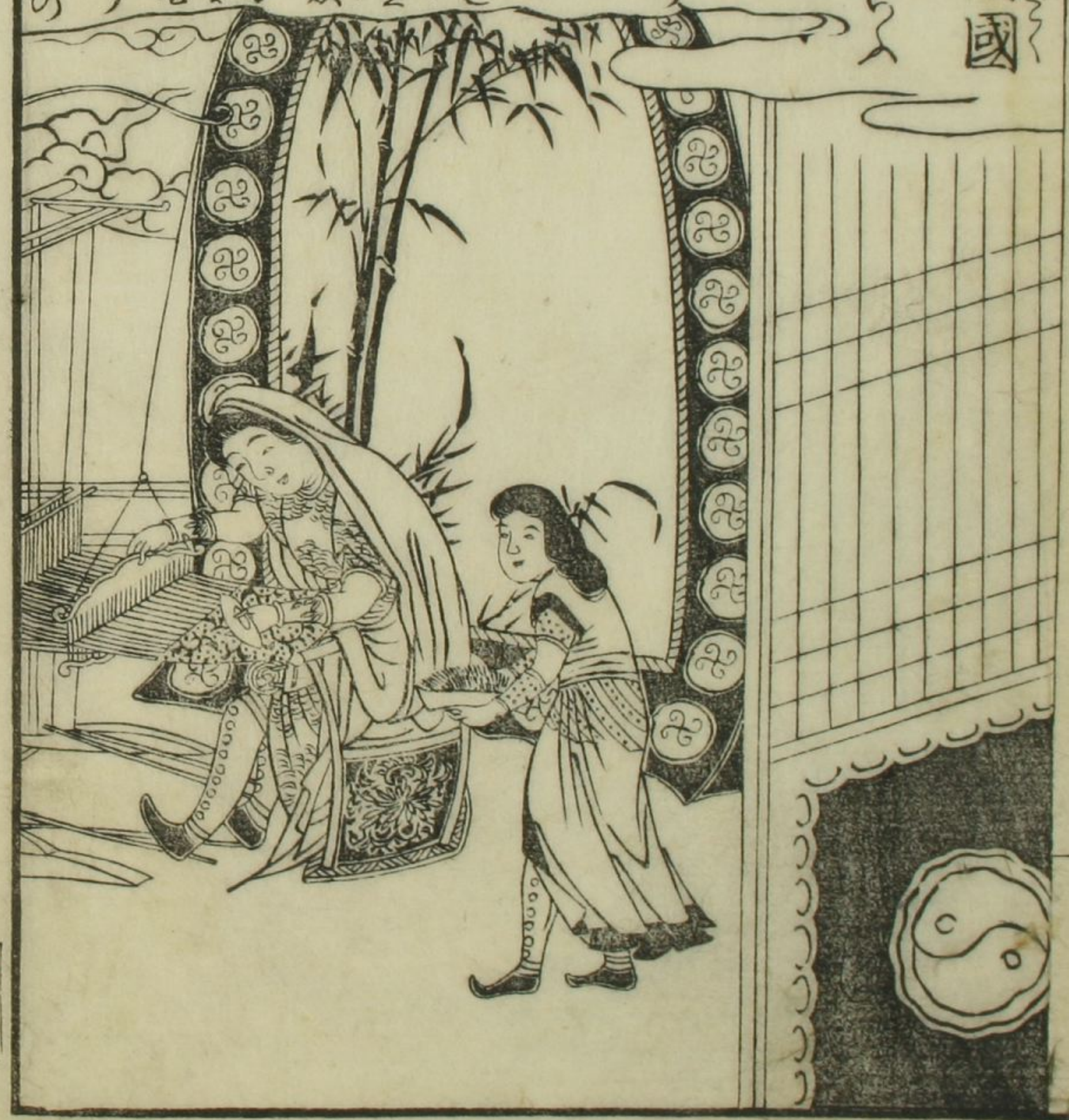
射

〜〜〜成る〜びまき
 さだん
 石人なりと
 びん



○莫臥爾國

都とテリイとらん
五天竺のうら
四つの地とま
ぐくつらつら
唐大なるふこ
風信活して官
室花簾とほし
衣振るま帝よ金
彌波ふの勢とま
と日本うてとる
とる織物いふ
うり出く別ら乃
やそののさうかの



蜀江の流ながくと
けまていそらほま
てやひのまろ湯と
よてらと身をぬそ
くま下地なうとそ
羽ひぞ近ひこの
地(日本の内
本終丹は布
なとほア〜ふ
大とよ孫しぞと
て潤まをなう
んぼく丹は布
ろまんなう位
ろくでいさつこ
とのなうぬし



入るる
そん
櫻十
よ

○應帝亞國

いづれ五天子なり
 しが今この南天竺の
 る妙なり故とまじら
 印度と号とむ中堂
 塔伽監多くんま
 経を唱へ衣被る
 糸を用也これ天衣也
 熱さるがゆへり又風
 風抽く日本のよる
 のどろとてこの釈迦
 如来の法法志修ひく
 重宝山い南海の
 中へてられと



錫蘭島と

ついでとて
 南天竺の南の
 へてり



○ 錫蘭 島

日本の九乃の経行の路を
 在る磐石山のまじりて
 士の山をさうらうらまの
 そろほどありは辺
 四方まゝ形つま
 して回る商人あり
 く茶や町まごあ
 ありてありて
 ありてありては地
 象とて知て半るの
 かさるとは他か
 のもどちがひて
 人のまげを



ろく土人これよ
 せして村の町な
 がれ人の伴ふれと
 ついつくれが
 りつとこ
 馬王のや
 け自界が
 であつた
 けふは
 してま
 やれ
 りり
 三ノ七



陽をさうらうらまの
 こころはけ

○象林國

西天竺より入りてのふり
 人々の徳を酒とわけて
 飲をて来しとてぬれはき
 唐弱るる人の徳をふりて
 味をろしとてりりやして
 やせうでのけんこの
 入いおまごのおるひり
 けりけりさるるひり
 としとらひ細きもの
 る人びとをさるるひり
 げりからちいひるらりせり
 うたはるの姜維將軍
 のまもをせんせなるら

とて
 の



とて
 の

○大夏國

北天竺より
 小よりの大玉
 なり人物も
 白く革衣を
 後を帯び人々
 容貌美麗よ
 して天下よけ
 んどろはくさ
 などのしるふ
 ことなり



高山を度りあつて
 存あつてあつた
 志らふの志らふは
 の名をうりあつて
 己をさとしして
 伝ふことなり

食物とて



○ 弼琶羅國

引^ひ 髯^{ひげ}のながひのち
 うつとまろく^うめ^めひ
 ませよら^まひ^ひま^まま^ま
 い^いら^らふ^ふれ^れの^のこ^こで^でい^い
 と^とろ^ろい^いよ^よひ^ひざ^ざも
 ま^まま^まや^やま^まこ^こわ^わら^らん^んの
 こ^こで^でい^いん^んま^まう^うい^いた^たぞ^ぞ
 ち^ちん^んら^らこ^こぞ^ぞろ^ろこ^こして
 む^むら^らぶ^ぶな^なり^りそ^そま^まい^いわ^わな^な
 る^るれ^れぢ^ぢぢ^ぢま^まま^まぞ^ぞも^もな^な
 政^{せい}も^もな^なく
 ち^ちろ^ろぞ^ぞぢ^ぢく
 ほ^ほく^くて^てま^ま事^じ



そ^その^のい^いは^はよ
 そ^その^のう^うら^らよ
 て^ての^のつ^つめ^めか
 なる^{なる}風^{ふう}後^ごろ^ろ
 又^{また}傾^{かたむ}城^{しろ}御^ご有^あ
 國^{くに}人^{ひと}お^おら^らこ
 こ^こぞ^ぞめ^めれ
 つ^つろ^ろい^いこれ
 と^とも^もつ^つて^て本^{ほん}
 信^{しん}ん^んつ^つそ^そ
 か^かず^ずり^りま
 人^{ひと}物^{もの}の^の亭^{てい}
 と^と細^こ細^こ亭^{てい}
 と^とい^い唐^{たう}ぞ^ぞら
 こ^ここ^こそ^そ帰^かる



○波斯國

西天竺の西の隣る方むらうりま
 大に多し人物と云ふくか
 小く一男一女の多き事
 左の股ふこと右の股ふこと
 足短こと右の股ふこと
 ことしふたふと止り
 付いかにりしてとび
 又右竹杖をとり
 助るなるんそれいそ
 口ずの片をいけて
 とびつくと波影國
 とつくとつひ
 かろり



橋本市太郎

